

## 「落語と私」 その参拾

### 三代目 橋ノ百圓

この号が皆様のお手元に届くのは、8月初旬ですが、その頃の新型コロナウイルスの世界的な数字が気に成ります。東京も6月時点では、中なか思う様に成っていませんが。

私の師匠、三代目橋ノ圓が急逝したのが、6年前の5月29日、オカミさんから報告が在った時には本当に驚きました。テな訳で今年は師匠の七回忌に当ります。ご遺族の方と相談をして、5月の法要を延期する事に致しました。賑やかな事が好きだった師匠は、蓮の台の上でガッカリして居ると思います。只、その辺の事情は師匠も解ってくれると思います。

このコロナ禍の中でさえ、悪人は居るもので、特別給付金に関する詐欺が横行している様で、皆様もお気を付けください。近頃では、昔からの空巢狙いよりも、特殊詐欺の発生件数の方が多い様で、考えてみれば、空巢に入るには、それなりの経験、下調べ、それに家人に見附って捕まる危険も在る訳ですし、それに比べると「俺おれ詐欺」は、捕まる心配も少ないし、一度に入る金額も大きいですからネ！これは何も皆様に「俺おれ詐欺」を勧めている訳では無いですよ。

皆様も寄席に行くと、必ず一席は泥棒の噺を聴くと思いますが、これは噺家の「験担ぎ」で、お客様の懐を取り込もうと言う狙いなのです。五右衛門の辞世に「石川や浜の真砂はつきるとも 世に盗人の種はつきまじ」テエのが在りますが、正にその通りで、世界の歴史にも必ず泥棒が出て来ます。仏教、キリスト教でも盗みは戒めております。

テな訳で今回は「愛すべき泥棒達」と題しまして、泥棒噺を取り上げます。只、落語に出てくる泥棒の多くは、ドジで間抜けで、お人好し、三拍子揃ってます。夏泥(置泥)や転宅の様に、盗みに入りながら家人に見附り、逆に自分の持金を取り上げられてしまうと言う為体ですから盃を交した親分に「お前エは盗人には向かネエから、足イ洗って堅気に成れ」と言われるのを当人が「そんな事言わずに折角親分子分の盃イ頂いたんですから、今日から真心に立返って悪事に励みますから置いてやってください」テな訳で空巢の手解を受けるのですが・・・。

では、この泥棒の出てくる噺が幾つ在るか数えますと 窃盗罪=穴泥、芋泥、夏泥、釜泥、碁泥、締め込、だくだく、つづら泥、転宅、にかわ泥、花色木綿、水屋の富、めがね泥、もぐら泥、やかん泥の15話。次に詐欺罪=居残り佐平次、にせ金、壺算、時そば、猫の皿、初音の鼓、身投げ屋。その他=蔵前駕籠、鈴ヶ森は追剥。双蝶々は小雀長吉が主人公の殺人まで犯す人情噺。薙刀傷は押込強盗。一文笛はスリ。27を数えます。「時そば」の詐欺罪は洒落と思ってください。

噺には流行廃が在りまして、時代に合わず近頃聴かれなく成ったものも



庶民に愛された伝説の大泥棒  
石川五右衛門

出典：<https://rekijin.com/>

結構在りますが、只、理屈通りに行かないのが世の中で、窃盗罪の「穴泥」ですが、昔は大きな商家には「穴庫」と言うものが掘って有りまして、緊急時には、その穴に大事な品を放り込み、上から土を掛けて焼失を防ぐと言う。今では余ほどの田舎にでも行かないと残って無いと思います。この「穴泥」は暮の噺で、その時季に成ると必ず何処かの高座に懸ります。お客様も噺の進行範囲での想像で、何んの抵抗も無く聴いてますから、噺家の“力”なのですかネ!?当然前座さんの出来る噺ではありません。

「穴泥」別名「穴庫の泥棒」「晦日の参両」、元もと「穴庫の泥棒」がつまって「穴泥」に成ったと思われます。

エエ、昔から“貧の盗みに恋の詩”とか申しまして、貧する余りに盗みをはたらく、恋する余りに詩を詠む。マアこう言う下地と言うのは、人間どなたにも在るんだそうで。

デッ始まりまして。

一日中金策の為に歩いて、足を棒の様にして帰って来た亭主に「どうだったお前さん、出来たのかいお金は!？」と面ア掴んで問詰るカミさんに、亭主は只ただ言い訳ばかり「私しゃネエ、そっくり拵えて来いと言ったんじゃないんだヨ、参両、ネ、参両有ればこの暮は何ンとかするからと言ったんじゃないか(中略)呆れたネエ本当に、お前さんみたいな人はネ、豆腐の角へでも頭アブツけて死んでおしまい」とまで言われても「豆腐に頭アブツけりゃあ豆腐の方が壊れちまう。壊れた豆腐は炒り豆腐にしか成らネエ」と惣菜の心配。とうとうカミさんも「そんな所でグズグズ言ってる間に、何処へでも行って、参両拵えといでヨ、参両出来なかった日にゃ、家へ入れて遣らないからネ!」と閉出しをくらう始末、この男も腹立ちまぎれに表へ飛び出した様なものの、行く宛も無くブラブラと歩いて菊屋橋辺りまで来て、ヒョイと見ると、大きな角蔵の有る立派な店構え「ウァー凄いなこの家は、見るからに金が有りそうだよ、こう言う家は金が唸ってるんだヨ、こっちは金が無くて唸ってるんだからナ・・・」ブツブツ言いながら見ていると、2階の雨戸がスーと開いたかと思うと、ここの若い者ン2人が吉原へ隠れ遊びに出掛ける処「あの2人に金借りようかな、金が欲しいナ本当に、ウツ待てヨ、今2人が降りて来たのをアベコベに昇りゃ、この家に入れるネ(中略)この家に忍び込んで参両だけ盗ましてもらおっ(中略)デッ一生懸命稼いで、その参両に煎餅の袋でも付けて謝りに来る、そうすりゃ勘弁してくれるヨ、これだけの身代張って参両ぐれエの金で驚く者ンじゃネエ!ヨシそうしよう」マア盗人にも三分の理と申しますが、真ンまとこの家に忍び込んで、2階でガタガタ震えてましたが、馴れて来ると梯子段の所から灯が1本走ってるので、覗いてみるとお膳が沢山並んでいる「そうか、この家は何か目出テエ事が在ったんだナ、デッ皆んなにご馳走して“今夜はもう遅いから、片付けは明日にして寝ちまいナ”テンで、あの2人が抜け出したんだ、悪ィ了見だネ(中略)それにしても随分と料理が残ってやんネ・・・」とこの俄泥棒は料理を食べ始める。酒も残っているので大きい物で3杯ほど飲むと、ポーッと良いご機嫌に成り、またまた勝手に妄想を膨らませて、サテ仕事に掛かろうと、気が付くと何処から這い出して来たか赤ン坊が「コリア驚いたネ、可愛い赤ン坊だよ(中略)何ンか食べるか?玉子焼を遣ろう・・・」子煩悩な泥棒が在った者ンで、赤ン坊を立たせてアヤシながら後退り、ところが大きな火鉢に躓いてモンドリ打って土間に転がり落ちた!ここに前述の穴倉が有って、運悪く蓋がチョトばかり擡れてた、土間に落ちた弾みで、この穴倉へドシン「オー痛!こリア驚いたネ、油断も隙もないネ、エエ、子供だ子供だと思っていたら、柔の心得が在ろうとは思わなかった。こんな所へ投げ飛ばしやがった、何ンだいオイ、真暗で何ンにも見えねエナ・・・」穴倉の中で騒いでいる

と、その家の主が起きて来まして「穴倉に誰か落ちてるヨ、誰だ!!声の様子からすると大工の鉄っあんかい」「イヤ大工の鉄っあんじゃ在りませんヨ」(中略)と遣っていると、泥棒だと判り、家中大騒ぎ「あ



出典：<http://sakamitisanpo.g.dgdg.jp/anadoro.html>

のな誰か頭<sup>かしら</sup>を呼んで来な、お役人はいけないヨ、今日はお目出たい晩だ、こんな時に家から縄付きは出たくない、良いから、頭に直ぐに来てくれる様に」生憎頭は留守で、店の者ンが連れて来たのが頭のオカミさんの勧めで、向う見ずの勝っあんと言う一見強そうな男「どうも、お初にお目に掛ります。私ッしゃ頭の家イ居候をしておりやす、向う見ずの勝てエ者ンでござんす(中略)右の腕には昇り龍、左の腕には下り龍、背中般若の面(中略)何が在ったって驚くんじゃございませぬ、頭へのご恩報じの為にも、命を的に働きますんで、どうぞ何ンなりとおっしゃってくださいまし」とにかく威勢が良い「オウそうかい有難う、イヤお前さんの様な人に来て貰えりゃ心丈夫だ、実は、今家に泥棒が入ったんだ」「泥棒がネエ、アアそうですか(中略)デッその泥棒は、何処<sup>どっち</sup>の方へ逃げました?」「イヤ逃げやしないんだヨ、まだ家に居るんだヨ」「エッ未だ居るンすか家イ、アアそうですか(中略)じゃあここは一つお役人を呼びイ」「何を言ってるんだヨ、お役人を呼ぶくらいなら、何もお前さんに来て貰いやしないんだヨ(中略)その泥棒は酔っ払ってこの穴倉に落っこったんだヨ」「エエ!穴倉に泥棒が、そうですか、そう成りゃ造作もねエ事って、それじゃア、上から大きな沢庵石を放り込んで」「オイオイ、そう言う乱暴な事をするんじゃ無いヨ、怪我したらどうするんだヨ」「いけませんか、じゃア頭の上から煮エ湯を掛けますか」「虱<sup>しらみ</sup>を捕ろうテンじゃ無いんだヨ(中略)だからお前さんが、この穴倉に降りて泥棒を引き摺り出してくれりゃそれで良いんだヨ」「私ッしゃどうも降りるテエのが苦手なんでござんすヨ・・・」色々遣り取りが在って、旦那が「仕様が無いナァ本当に、じゃアこうしよう、失礼ながら、お前さんに手間として一両出すから頼まれておくれ」「一両スカ!?一両と聞きゃもう何が在ったって驚くんじゃござんせん(中略)ヤイこの泥棒野郎、巫山戯た事オ言いやがって、脹脛<sup>ふくらはぎ</sup>喰い千切るだァ、足は2本有るんだヨ、もう片方<sup>かたっぽ</sup>の足で手前<sup>てめえ</sup>の目の玉蹴り飛すぞ」「何イ目の玉蹴り飛す、そうかヨ一シそれじゃ脹脛は止めた、今度は、降りて来る処を、飛込んで股ぐらァぶら下がって急所<sup>きょ</sup>振じ切っちまうぞ」「聞きましたか旦那、急所にぶら下がるテエのは穏やかじゃございませぬ、中の野郎、私ッしを良く知った野郎ですネ、何処かの湯屋で一緒に成ったんすヨ、私ッしのは又他人<sup>ひと</sup>よりも大振な物ンですから、ぶら下り易い」「何を馬鹿な事言ってるんだヨ、じゃアこう仕様、二両出すから入っとくれ」「エッ二両ですか!?二両と来りゃ鬼に金棒で、オイこの野郎、今旦那が二両くださるテんだ、ナァその内一両お前エに遣るから大人しく上がって来やがれ」「何を言っやんでえ、早々と手前エの方から降りて来い、咽笛<sup>えびす</sup>喰い付くぞ!」「旦那咽笛はいけません、命に懸かりますんで、ここは一つお役人を」「オイ何を言ってるんだヨ、今更お役人は無いだろう。イエお前さんだけが頼りなんだから、じゃアこう仕様、参両、参両出すから遣っとくれ」「へい参両ですか」と泥棒が「何イ参両!一寸と持ってくれ、参両なら俺の方から上って行こう」

仕込が在っての反対落ちですネ。

今回はこれで終わりますが、8月に入っても、どう成って居るか分かりませぬ。皆様一人ひとりが注意をして、この難局を乗り切りましょう。又9月号を宜しく。